

# 鉋物に関するもの

## 勢至堂の鉋山

勢至堂の成田山（勢至堂と御代の壇の山）は銅が沢山出たので、勢至堂は一時大変にぎわった。鉋山を開いた人は、大阪の人で桶上専次郎といった。この人は千葉県成田山を信仰祈願して、その御告げによって鉋山を開いた。一時繁昌した時は沢山の従業員が住み、勢至堂の屋敷はもちろん一里壇より水口山通称五郎山まで長屋がいっぱいだった。勢至堂小学校も生徒が百名ほどいたといわれる。

しかし鉋石を洗った毒が川に流れ、長沼の下まで魚が一尾もいなくなってしまう。また田圃にも毒が流れ込み、稲も駄目になった所が出た。

後に石川団衛という人に経営が移ってからは鉋石が出なくなつて、ついに鉋山は閉じてしまった。全盛時代に黄金で造った御姿を勢至堂の成田山に納めたが、その御姿も今はないといわれる。すっかりさびれた勢至堂、大雨の降った時など時折、鉋山跡より毒が流れ出すといわれる。

勢至堂水口山

